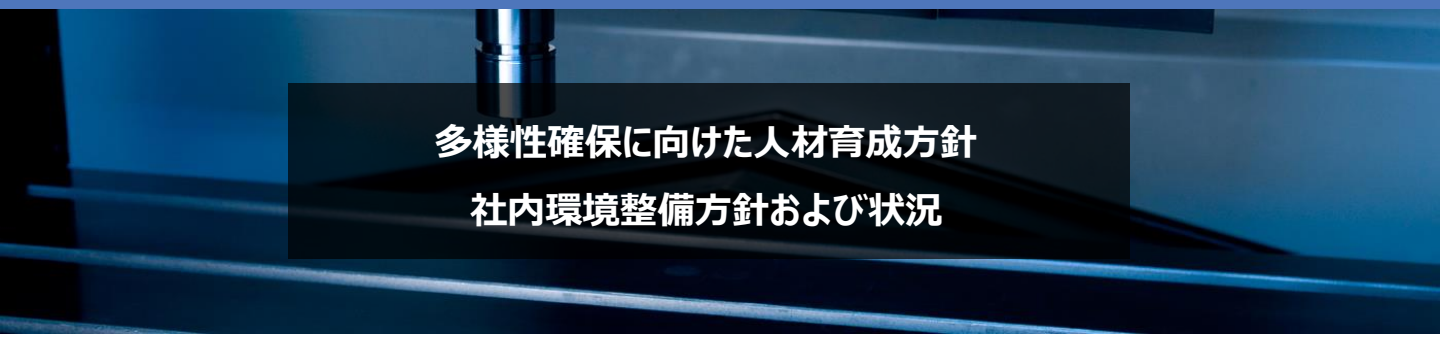

多様性確保に向けた人材育成方針
社内環境整備方針および状況

マキノでは、人材の「材」は「財」であると考えております。

高精度、高品位な工作機械の供給者を志す当社は、開発、生産、営業、サービス等、それぞれの分野で長年にわたり蓄積された知識やノウハウを引継いでいくとともに、新しい技術を取り込んでいく必要があります。

さらに、顧客の生産拠点は世界中に広がり、技術や市場の急激な変化も相まって要求も多様化しており、柔軟な対応が求められております。

多様性の確保は、これらの課題に対応し、持続的に企業価値を向上するための不可欠な要素であります。

マキノは、このような観点から、次の通り人財育成および社内環境整備に関する方針を定めました。

1. 社員一人ひとりの成長が会社の成長につながり、会社の成長がさらに社員の成長を促すという好循環を実現するため、社員の自律的なキャリア形成、スキルアップ・スキルシフトのための様々な成長の機会を提供します。
2. 多様な人財の価値観を受け入れ、そのような多様な人財と価値観をもとに、顧客の多岐にわたる課題にフィットする革新的な製品・サービスを生み続けられるための社内環境の整備を推進します。

上記の方針に基づき、以下に記載した活動をはじめとしたさまざまな取組みを行っております。

- 総合的な研修・育成体系に基づいた、階層別研修の実施や自己啓発による学びの機会の提供
- 大学と連携した共同研究及び、社会人ドクター・大学・大学院・経営学修士への社員派遣
- 定期的に実施する上司とのキャリア面談を通じた中期的なキャリア支援や、社内公募制度による自発的なキャリアチャレンジの支援
- 社内ユニバーシティ「MakinoBusinessAcademy」の設置、大学と連携した専門講座の提供および大学研究者との人財交流、当社技能の伝承、次世代人財育成等の施策の実施
- 異文化理解の研修等、多様性を受容し活かすための各種研修の実施
- 他社・海外子会社との交流等、様々な組織の才能が交わる「場」づくりの取組み

copyright © Makino All rights reserved.